

・全世界:新型コロナウイルスの流行状況

新型コロナウイルスの累積感染者数は 4 月下旬までに約 1 億 4500 万人、死亡者数は約 300 万人にのぼっています(米国ジョンホプキンス大学 2021-4-24)。4 月も世界各地で感染者数が増加しており、とくにインド、アルゼンチン、イラン、トルコ、ドイツなどでの感染者数が多くなっています(WHO Corona virus disease 2021-4-20)。英国型の変異ウイルスは 137 か国、南アフリカ型は 85 か国、ブラジル型は 52 か国に拡大しており、世界的に流行株は変異ウイルスに置き換わっている状況です。WHO はいずれの変異株も感染力が強いととも、英国型、南アフリカ型は病原性が増強している可能性があることを報告しています。なお、WHO は現在、ファイザー社、アストラ・ゼネカ社、ジョンソン & ジョンソン社のワクチンを途上国などでの接種に用いていますが、今後、中国製のワクチンがこれに加わる可能性があります。[Coronavirus disease \(COVID-19\): Vaccines \(who.int\)](https://www.who.int/coronavirus/vaccines) 日本では英国型変異ウイルスによる第4波の流行が発生しており、政府は4月25日から緊急事態措置を東京都、大阪府、兵庫県、京都府に発令しました。水際対策の強化も当面、継続されることとなります。

・アジア:鳥インフルエンザ患者の発生状況

ラオス北部で 5 歳男児が H5N6 型の鳥インフルエンザを発症しましたが、その後、回復しました(ヨーロッパ CDC 2021-4-9)。H5N6 型は中国で 2014 年以来、30 人以上の患者が発生しており、このうち 17 人が死亡しています。今回のラオスのケースは中国以外で初めての患者になります。中国では H9N2 型の鳥インフルエンザ患者も発生しており、この 1 ヶ月で 2 人の患者(10 歳男児、2 歳女児)が確認されました(WHO 西太平洋 2012-4-16)。H9N2 型の症状は一般に軽症です。

・アジア:デング熱の流行状況

今年は東南アジア各国のデング熱患者数が例年より少なくなっています(WHO 西太平洋 2021-4-8)。昨年、大きな流行のあったシンガポールでも、今年の患者数は 4 月上旬までに 1700 人と、昨年より大幅に減少しました。今後、多くの国が雨期に入るため、引き続き注意が必要です。

・**アフリカ:ギニアのエボラ出血熱流行**

今年 1 月から西アフリカのギニアで発生していたエボラ出血熱の流行は、一時鎮静化していましたが、4 月になり再燃がみられています (WHO アフリカ 2021-4-6)。累積患者数は 23 人で、このうち 12 人が死亡しました。

・**中南米:ハイチで狂犬病が増加**

カリブ海のハイチでは、イヌへの狂犬病ワクチン接種が滞っており、狂犬病に感染したイヌが増加している模様です。こうした状況から、米国 CDC はハイチに渡航する者に感染症警戒情報を発出し、出国前の狂犬病ワクチン接種を呼びかけています (CDC Traveler' s Health 2021-4-15)。